

Close Up

クローズアップ 交通教育センター

# 10カ国73名のインストラクターが安全運転技術を競う

10月19日、20日の両日、鈴鹿サーキット交通教育センターにて、「第18回セーフティジャパンインストラクター競技大会」が開催された(主催:本田技研工業(株)安全運転普及本部)。この大会は、安全運転普及の各分野で活躍するHondaの安全運転インストラクターの指導力ならびに運転技術の向上と均質化を図る場と機会の提供を目的に1997年より開催されている。今回は国内の交通教育センターと事業所

から42名と、海外9カ国(オーストラリア、台湾、フィリピン、インドネシア、マレーシア、シンガポール、タイ、トルコ、ベトナム)の事業所から31名の総勢73名が参加。二輪(大型、普通、小型)、四輪の各部門に分かれて、安全運転のスキルをはかるための競技に取り組んだ。競技内容は、二輪部門が「コーススラローム」「ブレーキング」「一本橋」、四輪部門が「低μ路走行」「フィギア」「コーススラローム」となっている。こうした競技のほか、選手

各部門の個人総合優勝者

- 大型二輪  
Arunkrung Pinpon (タイ・A.P. Honda)
- 普通二輪  
飯島大貴 (鈴鹿サーキット交通教育センター)
- 小型二輪  
Akarapon Promtang (タイ・A.P. Honda)
- 四輪  
鶴田一史 (交通教育センターレインボー熊本)

がチームに分かれ、効果的な指導方法について検討するグループワークも行われた。また、この大会に先立ち10月18日には「Safety Driving Managers Meeting」が開催された。オーストラリア、フィリピン、インドネシア、日本、マレーシア、タイ、トルコ、ベトナムの8カ国からHondaの事業所の安全運転普及活動推進責任者20名が参加。各国の活動の紹介や意見交換が行われ、今後の活動に有効な情報を共有した。



Safety Driving Managers Meeting



国内外からHondaのインストラクター73名が鈴鹿サーキット交通教育センターに集まった



二輪「コーススラローム」



グループワーク



四輪「フィギア」

Close Up

クローズアップ 四輪販売会社

# 自治体へはたらきかけ、地域の幼稚園・保育園で交通安全教室を拡げる Honda Cars 光東

Honda Cars 光東(本社:山口県下松市)は昨年、新車を販売する5拠点に「あやとりい ひよこ編」(4面参照・以下、あやとりい)を使った交通安全教室を実施できるスタッフを養成。以前は子ども向けのイベントに合わせ交通安全教室を併催してきたが、今年4月からは近隣にある幼稚園・保育園に出向いて教室を実施していく方針に転換した。その背景を同社営業部エリアマネージャーの西本悦生さんは「イベントなどでは参加する人数に限られます。できるだけ多くのお子さんに参加していただくことが、地域の交通事故防止にもつながると考えました。そこで、この活動自体を積極的にアピールしようと、各拠点から最寄り

の市役所にはたらきかけを行いました」と話す。拠点の1つである柳井店は柳井市役所の賛同を得て、市内の保育園関係者が集まる会議に出席し、「あやとりい」交通安全教室について説明。その結果、保育園から要請が届くようになった。11月17日は柳井市にある大島保育園で、スタッフ4名(村上千恵美さん、井上泰樹さん、西生きりさん、大田莉菜さん)が交通安全教室を実施した。最初は西生さんと大田さんによる音当てクイズ。街で耳にする音を再生し、それがどこで聞こえる音か、子どもに指し示してもらおう。次は、井上さんが「あやとりい」のワークシートを使って、

道路を歩く場所や歩行者用信号機の色の意味などを問いかけながら説明する。最後に、村上さんが「とまる」「みぎ ひだり みてわたる」「シートベルトをしめる」と書かれた3つのシートを見せながら、「道路を渡る前に必ず止まる」「そして右、左、右をみる」「クルマに乗る時はお父さん、お母さんにシートベルトを締めてもらう」と強調した。「最終的に何を学んだかを子どもに印象づけ、それを家の人も共有してもらいたいと考えています」と村上さんはいふ。大島保育園園長の河野淑江さんは「日頃、私たちが行っている指導とは違う視点から子どもの交通安全意識を高められると考え、Honda Cars 光東にお願いしました。スタッフの皆さんが楽しい雰囲気をつくり、子どもたちの自発的な発言を引き出しながら進めていただけたのが良かったと思います。説明もわかりやすかったので、子どもたちも、しっかりと話を聞いていました」と語った。このようにHonda Cars 光東では、他の拠点でも自治体と連携しながら、幼稚園・保育園での交通安全教室を拡げている。



スタッフが子どもたちに基本的な交通ルールや安全確認の大切さを伝える



信号が点滅したらどう行動するか、子どもたちに答えてもらう



交通安全教室の最後に今日、学んだポイントを見せて子どもたちに再確認してもらう



写真左から、Honda Cars光東柳井店の村上千恵美さん、大田莉菜さん、西生きりさん、井上泰樹さん



街で耳にする音を再生し、それがどこで聞こえるかを示してもらった音当てクイズ